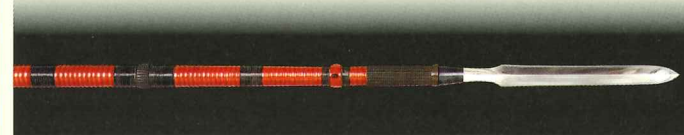


振り出し

① 1550年 1歳
まつ い やす ゆき
松井康之、
京都で生まれる。



② 1569年 20歳
本圀寺合戦で奮戦。
足利義昭から槍をもらう。



③ 1569年 20歳
細川藤孝の
家臣になる。

④ 1575年 26歳
藤孝の奉行人に
抜擢される。

⑤ 1581年 32歳
鳥取城攻めで奮戦。
信長からほめられる。



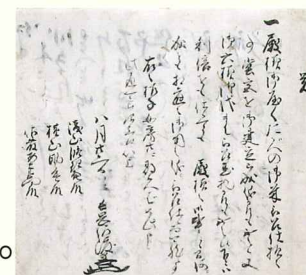
⑮ 1611年 62歳
おき なが
興長に家督を譲る。
翌年小倉屋敷で死去。

⑮ 1611年 30歳
興長、家督相続。
細川家の家老となる。

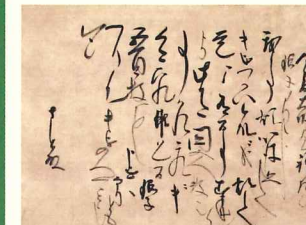


⑮ 1632年 51歳
細川家、肥後へ
国替となる。

⑮ 1633年 52歳
米の使途について
細川忠利を問い詰める。



⑮ 1638年 57歳
島原の乱に出陣。帰陣後、
忠利からねぎらいの
言葉をかけられる。



⑥ 1582年 33歳
細川忠興から丹後
久美城をあずけられる。

⑭ 1608年 59歳
病気になる。
忠興から毎日のように
手紙が届く。



⑭ 1661年 80歳
綱利の肥後
初入国をみとどけ
死去。



家老として細川家を支えた松井康之と興長。二人の波乱の人生をたどってみよう!

まつ い やす ゆき
松井康之

おき なが

・興長

人生すごろく

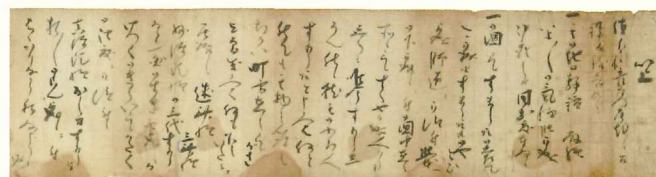


平成30年度秋季特別展覧会「ザ・家老 松井康之と興長・細川家を支え続けた忠義」より

⑬ 1601年 52歳
豊後木付城を
あずけられる。



⑭ 1660年 79歳
相撲とりを召し抱えよう
とする綱利をいさめる。



⑭ 1654年 73歳
家臣に綱紀肅正
を命じる。

⑭ 1649年 68歳
光尚死去。8歳の
綱利が藩主となる。
17にもどる

⑭ 1646年 65歳
八代城を
あずけられる。



⑦ 1591年 42歳
奥州一揆 平定の
行賞として 秀吉から
兜を与え られる。



⑫ 1600年 51歳
関ヶ原合戦勃発。
石田三成の勧誘を
はねのける。

⑪ 1599年 50歳
謀叛の嫌疑を
かけられた忠興を
救うため奔走。

⑩ 1599年 50歳
藤孝・忠興の勘気をこう
むり、伏見屋敷に蟄居。
振り出しにもどる

⑨ 1593年 44歳
秀吉から大名取り立ての誘いを受ける
も辞退。代わりに茶壺を与えられる。
10にすすむ



⑧ 1593年 44歳
朝鮮晋州城攻めで
長男与八郎が戦死。
1回休み

